

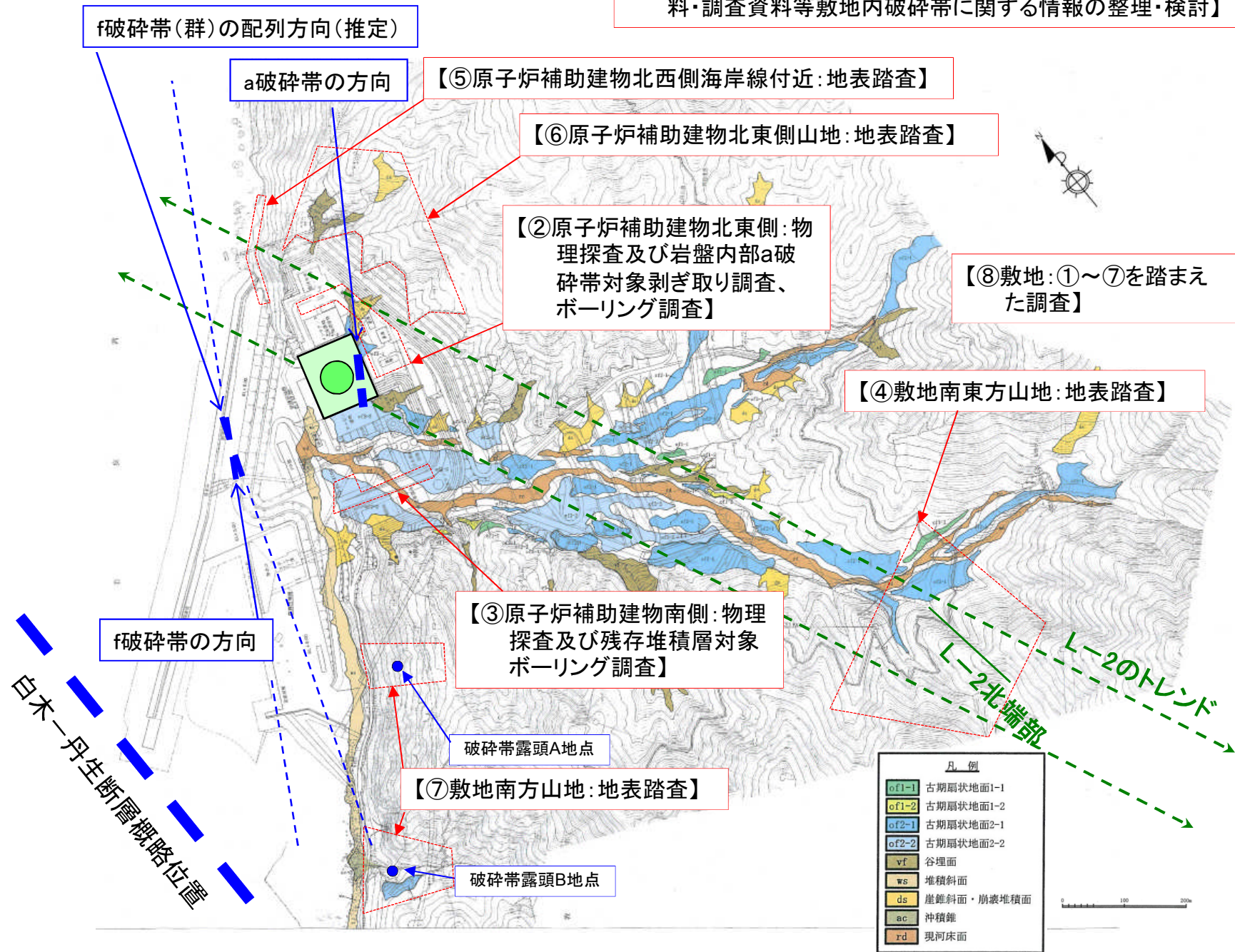
高速増殖原型炉もんじゅ敷地内破砕帯追加調査計画の概要

ポイント	調査計画位置	調査項目	調査内容	
<p>(1) 敷地内の複数の破砕帯の性状(活動年代等)を直接確認するための適切な場所を選定した上で、当該場所における必要な調査(破砕帯内物質の年代特定や上載層の変位・変形の有無等)</p> <p>(2) 敷地内の複数の破砕帯と敷地近傍で確認されている変動地形のL-2リニアメント及び周辺の活断層(白木一丹生断層)との地質構造上の関連性を明らかにするための調査</p>	①敷地(前面海域を含む。)	敷地内破砕帯に関する情報の整理・検討	・原子力機構が保有する既往工事資料・調査資料等の情報の整理・検討を行う。	
	②原子炉補助建物北東側	物理探査	・地中レーダー探査及び電気探査を行い、a破砕帯の北方延長部を探索する。	
		剥ぎ取り調査 ボーリング調査	・破砕帯の直接確認を行う。 ・破砕帯内物質の年代測定を実施する。	
	③原子炉補助建物南側	物理探査	・地中レーダー探査及び電気探査を行い、堆積層が残存していないかを探索する。	
		ボーリング調査	・ボーリングコア試料のテフラ分析等により、堆積層の年代の検討を試みる。 ・建設時のトレンチ調査における岩盤直上の上載層年代が、さらに古くまで遡れないか検討する。	
	④敷地南東方山地	地表踏査	・L-2リニアメント北端部周辺において破砕帯を探索する。	
	⑤原子炉補助建物北西側海岸線付近		・L-2リニアメント北方延長部において破砕帯を探索する。	
	⑥原子炉補助建物北東側山地		・a破砕帯延長部を探索する。	
	⑦敷地南方山地		・破砕帯露頭A地点及びB地点周辺において破砕帯を探索する。	
	⑧敷地		①～⑦を踏まえた調査	
		<ul style="list-style-type: none"> ・破砕帯の直接確認を行う。 ・破砕帯内物質の年代測定を実施する。 ・白木一丹生断層との地質構造上の関連性を検討する。 		

※調査内容は、調査の状況によって変更となる場合がある。

追加調査計画位置図

【①敷地(前面海域を含む。):原子力機構が保有する既往工事資料・調査資料等敷地内破碎帯に関する情報の整理・検討】



高速増殖原型炉もんじゅ敷地内破碎帯追加調査工程

平成24年12月14日現在

調査計画位置	調査項目	平成24年度						
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①敷地(前面海域を含む。)	敷地内破碎帯に関する情報の整理・検討	情報の整理・検討						
		既往資料整理						
②原子炉補助建物北東側	物理探査	準備		調査	解析			
		許認可手続、契約手続、等				調査		
		物理探査				解析		
	剥ぎ取り調査			調査準備	剥ぎ取り			
	ボーリング調査			調査準備				
③原子炉補助建物南側	物理探査	準備		調査	解析	調査		
		許認可手続、契約手続、等					解析	
		物理探査						
	ボーリング調査			調査準備	掘進			
④敷地南東方山地	地表踏査	概略調査	検討			調査		解析
		踏査						
⑤原子炉補助建物北西側海岸線付近		概略調査	検討			調査		解析
⑥原子炉補助建物北東側山地		概略調査	検討			調査		解析
⑦敷地南方山地		現場確認、情報整理		概略調査	検討	調査		解析

(凡例)

計画
 計画
 実績

- 注) ・準備は、許認可手続、契約手続等を含む。
 ・調査内容及び工程は、調査の状況、分析測定機材の空き具合、天候によって変更となる場合がある。
 ・更なる工程短縮について継続して検討していく。